

施策評価管理シート

2018(平成30)年6月作成

施策体系	政 策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	担当部局名	部局長名
	基本施策	3	地域福祉の充実		
	施 策	1	高齢者福祉		

1. 施策の基本方針 **P**lan

○ 高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が継続できるように介護予防、認知症ケア、医療と介護・福祉との連携、地域での生活支援を柱に施策を進め、地域包括ケアシステムの構築に努めています。今後、「超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの推進」のため、高齢者を取り巻く環境や地域体制等を検証しながら施策展開を図ります。

2. 現状と課題 **P**lan

・「まちじゅう元気!!リーダー」が地域での活動の場を増やし、地域の支え合い事業の担い手となれるよう、各地域での協議を重ね、実践につなげることが重要です。
 ・地域での生活支援、見守りの体制づくりにおいて、関係する部署との連携を図り、地域の特性、ニーズ等に応じた支援を行う必要があります。
 ・ニーズの多様化、問題の複合化に対応するため、まちの保健室でワンストップ窓口として対応していますが、ニーズの多様化に対応できる人材育成が課題となります。また、超高齢化社会に向けて、地域の見守りネットワークの構築や地域をはじめとする多様な担い手の支援体制の構築が引き続き課題となります。

○ 施策指標（目標）及び達成状況 **P**lan **D**o

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
生きがいを感じながら、安心して暮らしている高齢者の割合（％）	目標	-	-	-	80.5	33.3%
	成果	76.9	78.5	78.1		
地域づくり組織・区・自治会などの地域づくり活動に参加したことの65歳以上の市民の割合（％）	目標	-	-	-	80.0	0.0%
	成果	71.9	72.7	70.4		
認知症サポーター養成数（人【延べ数】）	目標	-	-	-	10,000	64.4%
	成果	5,596	7,649	8,433		

3. 課題解決への取組内容（平成29年度） **P**lan **D**o

計 画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> 地域の状況に応じて「まちじゅう元気!!リーダー」の活動を継続的に支援するとともに、フォローアップ研修や、活動交流会、実践報告会などを実施し、「まちじゅう元気!!プロジェクト」を推進します。 有償ボランティア事業の立上げ支援や災害時要援護者同意者リストの配布等を継続し、安心して地域で生活が続けられる基盤の整備を図ります。 多様化、複合化する課題に包括的な支援を実施するため、関係機関のネットワーク強化等、地域福祉教育総合支援システムを推進します。 圏域の基幹となるまちの保健室の人員体制を強化すると共に、総合相談機能の充実のため研修事業を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 「まちじゅう元気!!リーダー」研修 パワーアップ研修 4回実施 計 延べ531名 参加 よくバリーダー養成講座 実施 89名 参加 有償ボランティア事業については、薦原地域が生活支援を、名張地域が外出支援を新たに開始し、赤目地域に対し立上げ支援を行いました。また、外出支援の実施対象を市内全地域とする見直しを行い、30年度より赤目地域で実施予定となっています。災害時要援護者新規同意者リストの地域への提供についても引続き取り組みました。 介護保険生活圏域5圏域のうち、第1圏域名張、第2圏域梅が丘、第3圏域つつしが丘、第4圏域桔梗が丘、第5圏域百合が丘を基幹まち保と位置付け各圏域1名の増員を図り、人員体制の強化を図りました。 同志社大学に委託し、まちの保健室、包括等関係部局を対象に5回にわたり研修会を実施し総合相談機能の充実を図りました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 **C**heck

・まちじゅう元気リーダーを中心に各地域で健康づくり・介護予防活動を実施できるよう、まちの保健室、健康・子育て支援室、地域包括支援センターで支援していますが、これまでリーダーとなって取り組んでいただいている方が高齢となり、新たにリーダーとなる人材が少なくなっています。
 ・有償ボランティア事業実施地域はH29年度に1か所増え、計8地域となりましたが、残る未実施地域での取組を促進するべく、生活支援コーディネーターとともに担い手の育成をはじめとした体制整備を行います。
 ・まちの保健室の人員体制の強化のため、5圏域のうち3圏域の基幹まち保について、各1名の増員をはかることができました。引き続き2圏域について、人材の確保を行います。

5. 課題解決への取組内容（平成30年度） **A**ction

・まちじゅう元気リーダーについては、新たなリーダーとなる人材を養成しつつ、これまでのリーダーにも地域での取組の中心となるよう取組を継続していきます。
 ・「よくバリ青春体操」（地域普及版）を各地域で実施できるよう、まちの保健室、まちじゅう元気リーダーとともに啓発を実施します。
 ・生活支援コーディネーター（社会福祉協議会委託）とも連携し、引き続き、生活支援の担い手の更なる養成と新たな地域の体制整備を行います。
 ・有償ボランティア事業の立上げ・運営支援や災害時要援護者同意者リストの配布等を継続し、安心して地域で生活が続けられる基盤の整備を図ります。

6. 行政評価委員会による総合評価



安心して住み慣れた地域で生活が続けられる基盤整備のため、各地域における生活支援サービスを担う有償ボランティア組織の立ち上げ及び事業の運営を継続して支援すること。